

ロシア史研ニュースレター

ОБЩЕСТВО ИССЛЕДОВАТЕЛЕЙ ИСТОРИИ РОССИИ

No.137

April 2025

2025 年度大会は 10 月 11 日～12 日
青山学院大学にて**完全対面**で実施
自由論題・パネル報告募集中



【事務局より】

今年の10月11日(土)12日(日)に青山学院大学青山キャンパスで予定されているロシア史研究会大会は、特段の事情が生じない限り、昨年に続き完全対面で開催される予定です。

共通論題提案は既に締め切られておりますが、自由論題報告・パネルの応募締め切りは 4 月 30 日(水)ですので、応募用紙を本会ウェブサイト「大会」ページからダウンロードし、添付ファイルを事務局宛にお送りください。

<大学院生等に対する大会報告時の交通費補助制度>

例会交通費支給規程を準用し、大学院生等会員の研究活動を資金的に支援するため、遠方の会員（学振研究員を除く大学院生・非常勤）の自由論題報告に対し、交通費実費の片道分（上限有）を補助します。ご希望の方は報告申込のメールに「交通費補助希望」と記入してお送りください。

<大会時の託児サービス>

大会時の託児サービスについては、会場内託児は設置せず、かわりに子供一人につき一日最大5千円の託児補助を実施します。申し込み締め切り日等の詳細は後日改めてお知らせいたします。

【委員会の開催】

3月24日(月)Zoomミーティング

主な議題は以下の通りです。

- 2025年大会の共通論題案
- 『ロシア史研究』の改革
- 名簿の改革
- 内規の確認
- 北大サマースクールの委員の選定
- 次期委員選挙の選管委員の選定

【新入会員】

2025年1月～4月2日の新入会員(1名)をお知らせします。

山本 明尚(2025年4月2日入会)

所属：東京大学大学院人文社会系研究科美学芸術学研究室(特任研究員)

専攻・テーマ：19世紀後半～20世紀前半のロシア音楽史。特に大衆音楽教育の活動・思想史(プロレトクリトなど)

ロシア史研ニュースレター
第137号 2025年4月14日発行
編集・発行 ロシア史研究会委員会
(濱本真実・林健太)
〒819-0395
福岡市西区元岡744
九州大学大学院経済学研究院
左近研究室気付
